immune repertoire 解析依頼書

弊社記入欄

|  |
| --- |
| 弊社記入欄 |
|  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | サンプル名 | RNA1300ng以上 | 濃度35 ng/μl以上 | OD 260/2801.8以上 | 備考 |
| 1 |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |

サンプル発送日 / /

受託項目　該当項目に○

□TCRβ　　　　□TCRγandδ

□TCRα

□BCR重鎖 □BCR軽鎖

□RNA抽出(血液サンプルでのご依頼は

こちらにチェック)

生物種　　　　検体種別

* ヒト □　RNA
* マウス □　血液サンプル(ヒトのみ)

検体数　　　　　　サンプル

株式会社 日本遺伝子研究所 検査事業部 研究支援サービス
〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野1丁目5-28
TEL：022-388-9747　FAX：022-388-9740
Mail：clinical-sequence@ngrl.co.jp

年　　　月　　　日 　ご署名 　　　 　　　　印

特記事項がございましたらお書きください

上記の確認事項に同意の上、本解析サービスを依頼します。

施設名

所属

フリガナ

氏名

連絡先　電話番号　　( ) －

 住所

 e-mail

1. お送りいただいたサンプルは原則としてデータ納品後１ヶ月間保管した後に廃棄処分させていただきます。
2. ヒト由来サンプルは、提供者のインフォームド･コンセントが得られていることが前提となります。提供者の個人情報が特定できないようサンプル名を匿名化していただくようお願い致します。
3. 原則的にRNAでのご依頼となりますが、RNAの品質により再提出をお願いする場合や、解析を

お断りする場合があります。

1. 弊社では、オプションで全血からのRNA抽出を承ります。サンプル由来の原因でRＮＡの損傷が見られた場合、サンプルの再提出をお願いする場合があります。その際には別途実施した作業実費をご請求申し上げます。
2. 結果が得られなかった場合でも実施した作業実費についてご請求申し上げます。
3. 解析工程において何らかの問題が生じた場合には、標準納期より遅れる場合があります。
4. 解析結果につきましては、特定目的への適合性、有用性その他一切の保証をいたしません。
5. 申込み後のキャンセルについては、弊社が既に実施した作業実費についてご請求申し上げます。
6. 輸送機関、保管上の事故等、不可抗力により生じた損害については責任を負いかねます。

**immune repertoire解析受託解析サービス**

**検体提出の注意事項**

■血液サンプルでのご依頼

EDTA採血（10ml）後、4℃で保管し、24時間 以内に弊社着になるようご郵送ください（冷蔵便）。その際、火曜日～木曜日に弊社着になるようご郵送ください。

■RNAサンプルでのご依頼

・RNA抽出キット（推奨）・・・Rnaeasy mini kit (Qiagen)又はNorgen® Animal Tissue RNAPurification kitを推奨いたします。※Dnase処理工程を含めてください。

・RNAサンプルのクオリティチェック

RNAが分解していないことを確認してください。また、RNAサンプルが下記提出条件を満たしていることをご確認ください。RNAサンプルは、-80℃で保管し、凍結融解はなるべく控えてください。融解時は4℃でキープしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| RNA必要量 | 1300ng 以上 |
| RNA濃度 | 35ng/µｌ 以上 |
| OD260/280 | 1.8 以上 |

※1サンプルにつき複数項目について解析される場合には項目数分のRNA量をご用意ください。サンプル量が上記を満たない場合はご相談ください。

・RNAサンプルの輸送

ドライアイスを入れた梱包容器に入れ冷凍便でご郵送ください。その際、月曜日～金曜日に弊社着になるようご郵送ください。

 **一般情報**■RNAの取扱い上の注意

・ヌクレアーゼのコンタミを防ぐために、滅菌した環境下で行って下さい。

・使用する試薬には、ヌクレアーゼが混入しないように十分に注意して下さい。

・全ての使用する器具やピペッター・チップやチューブ類は滅菌されていることを確認して下さい。

・RNA は簡単に分解します。使用する前までは、-80℃で保管し、使用している間も4℃で保管して下さい。RNA サンプルが融解したら、混合するために軽く指で弾いて混合し、決してボルテックスはしないで下さい。

・分解を防ぐために、RNA サンプルの過剰な凍結融解はしないようにして下さい。

・最良のライブラリーを得るために、なるべく高いRNA濃度で、260/280 の比が1.8 以上であることをお薦めいたします。